

「わたらしい生き方応援プランひろしま（第6次）」の骨子案について

1 要旨・目的

「わたらしい生き方応援プランひろしま（第5次）」（計画期間：令和3年度～令和7年度（令和8年10月まで延長））（以下「第5次計画」という。）の計画期間が、令和8年10月末で終了することから、引き続き、男女共同参画に関する施策を総合的かつ効果的に取り組むため、次期計画を策定することとし、骨子案を次のとおりとする。

2 現状・背景

- 県では、平成14年度に「広島県男女共同参画基本計画」を策定して以降、社会情勢の変化等を踏まえながら、5年毎に計画を改定し、施策を推進してきた。
- 現在、第5次計画に基づき、県民、市町、事業者等と連携を図りながら、性別にかかわらず誰もが個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現に向けた施策を総合的かつ効果的に実施している。

3 骨子案の概要

(1) 計画の位置づけ

- 男女共同参画社会基本法第14条、広島県男女共同参画推進条例第7条に基づく基本計画
- 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律第6条に基づく推進計画
- 「安心・誇り・挑戦 ひろしまビジョン」の分野別計画
- 「広島県女性支援・DV防止計画（仮称）」等、関連する計画との整合を図る

(2) 計画期間

令和8年度～令和12年度（5年間）

(3) 策定に当たっての考え方

第5次計画の振り返りで見えた課題、考慮すべき社会情勢の変化のほか、国の「第6次男女共同参画基本計画」を踏まえて策定する。

(4) 骨子案の内容

別紙資料のとおり

(5) スケジュール

	7月	8月	9月	10月
生活福祉保健委員会	●骨子案	●素案	●集中審議	
男女共同参画審議会		●素案	●本文案	●答申
策定作業		パブコメ		●策定

わたらしい生き方応援プランひろしま（第6次）骨子（案）

令和8年7月17日

わたらしい生き方応援課

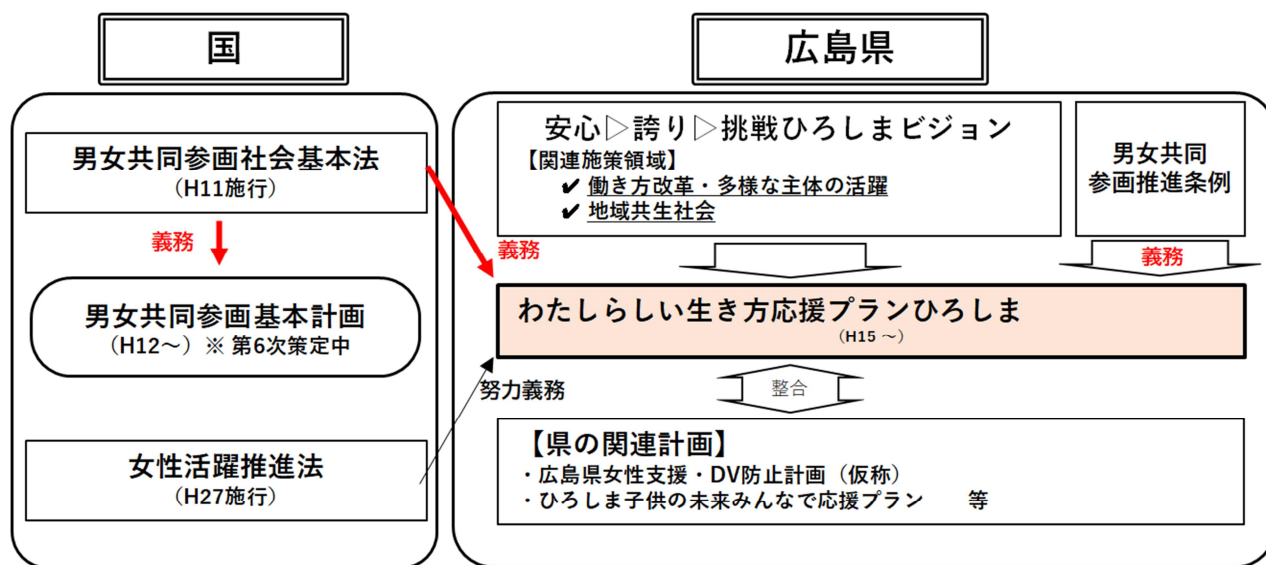
1 趣旨

現行の「わたらしい生き方応援プランひろしま（広島県男女共同参画基本計画（第5次））」の施策推進期間が令和8年10月末で終了する。

今後も、男女共同参画に係る施策を総合的かつ計画的に進める必要があることから、令和8年度から令和12年度を推進期間とする次期計画を策定する。

2 計画の位置づけ

- 男女共同参画社会基本法第14条、広島県男女共同参画推進条例第7条に基づく県の基本計画
- 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）第6条に基づく、県域における女性の職業生活における活躍推進計画
- 「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」の分野別計画
- 「広島県女性支援・DV防止計画（仮称）」等、関連する計画との整合を図る。



3 現行計画の振り返り

(1) 計画期間

令和3年度～令和7年度（令和8年10月末まで延長予定）

(2) 目指す将来像（広島県男女共同参画推進条例前文より）

性別にかかわらず誰もが、互いに人権を尊重しながら、その個性と能力を十分に発揮し、社会のあらゆる分野において共に参画し、責任も分かち合うことのできる男女共同参画社会の実現

(3) 施策体系／成果指標の達成状況

◎達成：100%、○概ね順調：90%～100%未満、△進捗にやや遅れ：80%～90%未満、×進捗に遅れ：80%未満

施策	成果指標数 (施策数)	達成状況				評価
		◎	○	△	×	
領域Ⅰ 仕事と暮らしの充実						
1 誰もが安心して自らが望む働き方にチャレンジできる環境づくり (暮らしと両立できる職場環境の整備【重点】)	3 (6)	2		1		・男性の育児休業取得率は上昇している一方で、男性の育児休業取得率は女性と比較すると低い。
2 女性が意欲を持ってその力を発揮することができる環境づくり (女性のキャリア形成支援と人材育成【重点】)	2 (5)		1	1		・指導的立場の女性割合は、特に大企業で十分進んでおらず、進捗にやや遅れがある。
3 個人生活の充実による多様な暮らし方の実現	1 (3)		1			・「長時間働かないと必要な収入を得られないので、暮らしを犠牲にして働いている。」等と回答する割合は、計画策定時と比較すると減少している。
領域Ⅱ 男女双方の意識改革						
1 性差に係る固定的な意識の解消【重点】	1 (3)				1	・性別にかかわらず暮らし方を選択できている人の割合は、特に30～50代の女性で伸び悩んでいる。
2 主体的に仕事やライフスタイルを選択する意識の醸成	1 (3)				1	・高校生向け「ライフプランニング教育プログラム」実施校は進捗に遅れ。
領域Ⅲ 安心して暮らせる環境の整備						
1 暴力や貧困など、様々な困難を抱える人への支援	3 (10)		1	1	1	・性被害ワンストップセンターひろしまの認知度は伸び悩んでいる。
2 性の多様性についての県民理解の促進と性的指向・性自認に関わらず安心して暮らせる環境づくり【重点】	1 (5)				1	・エソール広島でのLGBT相談の件数は増加しているが、窓口の認知度が低く進捗に遅れがある。
領域Ⅳ 推進体制の整備等						
1 市町や様々な団体等との連携強化	1 (2)			1		・エソール広島と団体等との連携取組数は、進捗に遅れがある。
2 地域社会における政策・方針の立案及び決定過程における多様な意見の反映	1 (4)		1			・県審議会の女性割合は、全庁への周知取組により年々増加しており、概ね順調。
計	14 (41)	2	4	4	4	成果指標14の施策のうち、6つが「達成」「概ね順調」

重点：第5次計画の振り返り等を踏まえ、特に注力する必要があることとした取組み

(4) 取組内容の振り返り

領域Ⅰ：仕事と暮らしの充実

目指す姿の状況

目指す姿（Ｒ７年度末）

○ 様々な職場において、性別に関わらず誰もが、ライフイベントと両立しながら安心して働き続けることができ、また、DX（デジタルトランスフォーメーション）の進展等による在宅ワークなど、ライフスタイルに応じて柔軟に働くことができる環境が広がるとともに、多様な人材誰もがその能力を発揮できる機会が提供されることにより、女性が仕事に対する意欲を持つことができ、その力を発揮できる環境が整っています。

○ 多様な暮らし方が可能となる中で、性別に関わらず誰もが、それぞれのライフステージの各段階で、希望に応じ、仕事と両立させながら、子育て等の家庭生活や地域コミュニティ活動・学び等の個人生活を充実させる人が増えています。

現在の姿

○ これまでの県内企業への男性育休の理解促進の取組などにより、男性の育児休業取得率が13.0%（Ｒ１）から53.8%（Ｒ６）まで伸び、全国値を上回っている。

○ 不妊治療と仕事の両立支援に取り組んでいる事業所の割合は、育児や介護、病気治療との両立支援と比較し、低い状況にある。

○ コロナ禍を契機にテレワーク等の柔軟な働き方に取り組む企業は一時的に増加したが、令和６年度時点で41.3%と目標を下回った。

○ 女性活躍の取組着手の効果は認められるが、その多くが就業継続（仕事と家庭の両立支援）の取組に留まり、指導的立場に占める女性の割合は２割弱で推移するなど伸び悩んでいる。

○ 「長時間働かないと必要な収入を得られないので、暮らしを犠牲にして働いている。」等と回答した人の割合は、目標を概ね達成しているものの、近年増加傾向にある。また、育児や介護等において、性別役割分担によるマイナスの影響を受けたと感じる県民も一定割合存在している。

■成果指標

指標名	策定時		Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	達成状況
１ 誰もが安心して自らが望む働き方にチャレンジできる環境づくり								
デジタル技術の活用等による時間や場所にとらわれない柔軟な働き方を推進する企業の割合	28.3%	目標	35.0%	40.0%	45.0%	48.0%	50.0%	△
		実績	44.0%	42.5%	35.7%	41.3%	-	進捗にやや遅れ
男性の育児休業取得率	13.0%	目標	14.0%	15.0%	20.0%	40.0%	50.0%	◎
		実績	24.0%	33.1%	46.2%	53.8%	-	達成
保育所待機児童数	39人	目標	0人	0人	0人	0人	0人	◎
		実績	14人	8人	3人	0人	0人	達成
２ 女性が意欲を持ってその力を発揮することができる環境づくり								
県内事業所における指導的立場に占める女性の割合	19.1%	目標	21.0%	22.0%	23.0%	24.0%	25.0%	△
		実績	19.9%	20.8%	19.6%	19.6%	-	進捗にやや遅れ
女性（25歳～44歳）就業率 ※5年に1回の調査により判明	72.3%	目標	-	-	-	-	82.5%	○
		実績	77.4% (R2)	77.4% (R2)	77.4% (R2)	77.4% (R2)	-	概ね達成・順調
３ 個人生活の充実による多様な暮らし方の実現								
暮らしの充実に否定的な人の割合	31.5%	目標	30.5%	29.4%	28.3%	27.2%	26.2%	○
		実績	25.0%	27.2%	29.3%	30.0%	-	概ね達成・順調

主な取組と要因分析

1 誰もが安心して自らが望む働き方にチャレンジできる環境づくり

（１）暮らしと両立できる職場環境の整備【重点】

主な取組と実績

○ テレワーク等の有効性の理解と導入を促進する事業を実施

・コロナ禍を契機にテレワーク等、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方や働きやすい職場環境づくりに取り組む企業は一時的に増加傾向となった。

○ 男性育休を取得しやすい職場環境づくりへの意識醸成の取組

・企業へ男性育休制度周知等の取組を行い、県内企業への男性育休の理解促進につながった。

	○ 不妊治療への理解促進と仕事の両立に向けた広報 ・不妊治療の助成申請者数及び妊活応援サイト「ふたりの妊活全力応援」のアクセス数が増加した。 ＜助成申請者数：770件（R5）⇒901件（R6）、アクセス数 55,833件（R5）⇒72,912件（R6）＞ 課題 ○ テレワーク等、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方は、コロナ禍が収束し、多くの企業が対面での打ち合わせ等に移行したことで、直近のR6年は目標未達となった。 ○ 男性の育児休業取得率は総じて上昇傾向で全国値を上回って推移しているものの、更なる取得推進と取得期間の長期化などが必要であることから、企業等に対して、育児・介護休業法の改正による産後パパ育休の創設等の内容の周知を図り、男性が育児休業を取得しやすい職場環境づくりを促進していく必要がある。 ○ 不妊検査・一般不妊治療費用助成申請件数は増えているが、認知度向上のため、さらなる制度周知を行う必要がある。また、不妊治療と仕事の両立支援に取り組んでいる事業所の割合を高めていく必要がある。 （２）仕事と暮らしを両立するためのサービスの充実 主な取組と実績 ○ ニーズに応じた質の高い保育等の提供体制の確保 ・保育所等、認定こども園及び放課後児童クラブについて施設整備 ＜認定こども園の設置数：263施設（R6）⇒290施設（R7）＞ ・保育士人材バンクにおける就業マッチングによる保育士確保の取組 ＜就業保育士数：14,987人（R4.10）⇒14,580人（R5.10）＞ ・保育士を対象にキャリアアップ研修及び放課後児童支援員研修の実施 ＜放課後児童支援員認定資格研修受講者数：391人（R5）⇒413人（R6）＞ ○ 児童発達支援の事業所確保等によるサービスの供給 ○ 介護サービス基盤の確保、地域包括支援センター等の相談体制の強化 課題 ○ 特定の地域への保育ニーズの集中や配置基準の見直し等により継続的な保育士の確保が必要である。
主な取組と要因分析	2 女性が意欲を持ってその力を発揮することができる環境づくり （１）女性のキャリア形成支援と人材育成 【重点】 主な取組と実績 ○ 県内企業の経営者等への女性活躍に向けた理解促進、取組着手に向けた動機付け ・企業経営者向け理解促進セミナーの開催、企業の課題に応じた対象別研修等の実施＜R4～6参加者：3,902人＞ ・女性活躍に向けた理解促進のための企業向けセミナー等参加者のうち、「女性活躍に取り組もうと思う」と回答した割合は74%（R6）、セミナー等参加者のうち研修内容を実践しようとして回答した割合は98%（R6）と高水準だった。 ○ 女性活躍の取組定着、性別にかかわらず誰もが働きやすい環境整備に向けた自律的な取組を促進するための支援 ・広島県女性活躍推進アドバイザーを活用したモデル企業の創出、事例発表会の開催、取組過程の発信など 課題 ○ 企業における女性活躍の取組着手の効果は認められるが、その多くが就業継続（仕事と家庭の両立支援）の取組に留まり、指導的立場に占める女性の割合は2割弱で推移するなど伸び悩んでおり、特に従業員301人以上の大企業における割合が極端に低い。 （２）就業継続や再就職、創業等女性の多様な働き方 主な取組と実績 ○ 県内企業の経営者等への女性活躍に向けた理解促進、取組着手に向けた動機付け【再掲】 ○ 女性活躍の取組定着、性別にかかわらず誰もが働きやすい環境整備に向けた自律的な取組を促進するための支援【再掲】 ○ 離職した女性等の再就職に向けた支援 ・女性離職者向け研修会、県内企業とのミートアップイベントを実施 等 （R6：参加者80人⇒就職者31人） ○ 創業意欲を持つ女性が創業できるような継続的・総合的な支援 ・ひろしま創業サポートセンターで創業希望者に対する相談業務の実施 等 （R6 新規相談件数：151人） 課題 ○ 女性の就業率は増加基調にあり、いわゆるM字カーブの底は浅くなってきているが、出産を契機に多くの女性が非正規雇用化することなど、依然として結婚や出産、子育て、介護というライフイベントが働き続けるための障壁となっているため、仕事と家庭を両立しながら働ける環境を整備する必要がある。

主な取組と要因分析	3 個人生活の充実による多様な暮らし方の実現 主な取組と実績 ○ わたらしい生き方を選択するためのワークショップやセミナーの実施 ○ 県民参加型の「ジェンダー川柳コンテスト」の実施（R5～） 課題 ○ 育児や介護等において、性別役割分担によるマイナスの影響を受けたと感じる県民も一定割合存在していることから、性別による固定観念の解消に取り組んだものの、「日々の仕事や生活に追われ、暮らしの充実は非現実的」と考える人の割合が年々増加している。

領域Ⅱ：男女双方の意識改革

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

主な取組と要因分析	2 主体的に仕事やライフスタイルを選択する意識の醸成 主な取組と実績 ○ 県内の道徳教育推進教師等を対象にした講演、授業研究等の実施 ○ 各高等学校の管理職や担当教員等へ「高校生のためのライフプランニング教育プログラム」の活用促進や指定研修での教材研究等 課題 ○ 性別にかかわらず、ライフプランニングの方法と考え方を知り、ライフスタイルを考える意欲を高める取組が広がっており、今後は、生徒がより主体的に進路を選択する意欲・態度を育むことができるよう、実社会や企業等が抱える課題の解決に取り組むなど、体験的・実践的な教育活動の更なる充実が必要である。

領域Ⅲ：安心して暮らせる環境の整備

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

</

	○ インターネット上の違法・有害情報の削除要請等、各学校における犯罪防止教室の実施等 ○ 児童生徒へのデートDVやSNSによる性被害等についての啓発活動の実施 課題 ○ 性犯罪・性暴力被害者について、子供・若者がボリュームゾーンであるが、これらの層が性被害ワンストップセンターひろしまにつながるための効果的な情報発信ができていない。 ○ 授業時間を割いてデートDV予防講座を実施することが難しい学校がある。また、市町における配偶者暴力相談支援センターの設置は進んでいない状況である。 (2) 生活上の困難を有する人に対する支援 主な取組と実績 ○ ひとり親家庭の就労支援や養育費の支払い、子供の自立に向けた支援など、実情に応じた助言や支援 ・広島県ひとり親家庭サポートセンターで相談実施 等（就業や養育費に関する相談支援、弁護士との無料相談会等）＜相談件数：1,174件（R2）⇒1,800件（R6）＞ ○ 福祉事務所職員研修及び生活困窮者自立支援従事者研修の実施 ○ 外国人に対する多言語での情報提供や相談事業、通訳ボランティア支援等を実施 課題 ○ 広島県ひとり親家庭サポートセンターで受ける相談件数の増加に伴い、養育費の取り決めに結びついた件数は増加傾向にあるが、養育費を実際に受け取っている者の割合は横ばいとなっている。
主な取組と要因分析	2 性の多様性についての県民理解の促進と性的指向・性自認に関わらず安心して暮らせる環境づくり 【重点】 主な取組と実績 ○ エソール広島におけるLGBT相談の対応と窓口の認知度向上の取組を実施 ・同じ悩みを抱える方と繋がりたいという相談者のニーズを踏まえ、支援者や参加者同士で交流できるグループ相談の場を年2回設けたところ、参加者の満足度は9割以上と高かった。 ○ パートナーシップ宣誓制度を導入した市町と同様の県の行政サービス等への適用を開始（県内市町の導入状況：13市町、人口カバー率67.4%（R7.4.1時点）） ○ 性の多様性についての県民等への理解促進 ・エソール広島による高等学校への出前授業（R4～R6：61校）や教職員向けに、性の多様性について理解を深め支援方法を学ぶ講座を開催 ・人権啓発指導者養成研修会「LGBTQセミナー」を実施したところ、参加者アンケートでは研修内容が「役に立つ」と回答した人が毎年度、9割以上と高い評価を得ている。 ○ 児童生徒の発達段階に応じた、人格の尊重と望ましい行動がとれるような学校教育全体を通じた教育の実施 ・各校の道徳教育推進教師に対するアンケート（R6）では、「自校の道徳教育の全体計画は、指導の方針や重点が明確に示され、教員に周知されていますか。」に対する肯定的な回答が90%を超えており、カリキュラム・マネジメントの充実により、学校教育活動全体で、人格の尊重と望ましい行動がとれるような児童生徒の育成が進んだ。 課題 ○ 県内全域を対象としたLGBT相談の窓口として、エソール広島が十分認知されておらず、当事者の抱える悩みの解消や居場所づくりを進める必要がある。 ○ 性的マイノリティについて「理解できる」と回答した人の割合は54.6%であり、県民理解を継続して進めていく必要がある。 ○ 人権啓発指導者養成研修会では、企業の人事担当者や行政職員の参加があるが、医療・福祉関係など様々な分野からより多く参加してもらう必要がある。

領域Ⅳ：推進体制の整備等

目指す姿の状況

目指す姿（R7年度末）

現在の姿

○性別に関わりなく誰もが活躍できるように、市町間の情報共有や先進事例等の共有が図られることなどにより、効果的な取組が行われています。また、NPO・企業等の団体や多様な個人が、核となる団体からの働きかけにより相互に連携を強め、自律的な活動が活発に行われています。

○県・市町の審議会などにおける女性の登用や、地域の避難所運営・自治会活動などにおいて女性の意見の反映が進むことなどにより、政策・方針の立案及び決定過程等において多様な意見が取り入れられるようになっています。

○市町の担当者が集まる会議において、先進事例の共有や意見交換を実施している。

○エソール広島の各団体との共同・連携は、連携団体数が増加しているが、目標には達していない。

○県審議会の女性の割合は、上昇傾向にあるものの、目標未達であるほか、県内の20市町では、地域活動における女性リーダーの不足していることを課題に感じており、女性の意見反映は依然として進んでいない。

成果指標

指標名	策定時		R3	R4	R5	R6	R7	達成状況
1 市町や様々な団体等との連携強化								
エソール広島の協働・連携取組数	12団体 49回	目標	14団体 60回	16団体 70回	19団体 80回	21団体 90回	24団体 100回	△ 進捗にやや遅れ
		実績	17団体 35回	13団体 27回	17団体 28回	21団体 44回	22団体 54回	
2 地域社会における政策・方針の立案及び決定過程における多様な意見の反映								
県審議会の女性の割合 （5審議会除く）	33.2%	目標	34.6%	36.0%	37.3%	38.7%	40.0%	○ 概ね達成・順調
		実績	34.2%	34.3%	36.7%	36.2%	-	

主な取組と要因分析

1 市町や様々な団体等との連携強化

主な取組と実績

○市町への関係施策の共有及び事例紹介の実施

○エソール広島において民間企業等と連携したイベントの実施

課題

○多くの市町で、地域活動に参加する女性が少ないことを課題と捉えている。また、男女共同参画施策推進に係る人員やノウハウ不足、予算確保を課題と感じており、推進体制の強化が必要と考えている。

○性別に関わりなく誰もがわたらしい生き方ができる社会に向けては、ジェンダー平等に取り組む多様な主体の活動や交流が広がっていくことが重要であるが、エソール広島の認知度は23.2%でジェンダー平等に向けた活動が十分知られていないため、市町や企業等との協働・連携をこれまで以上に進めていく必要がある。

2 地域社会における政策・方針の立案及び決定過程における多様な意見の反映

主な取組と実績

○県審議会の女性登用率の向上に向けた全庁通知の発出及び女性登用率の低い審議会等担当課ヒアリングを実施 <ヒアリング実施回数 R4～R6：18件>

○市町の事例紹介及び意見交換等による市町の審議会等委員における女性登用率向上の働きかけ

○地域社会における女性参画の実態把握と、女性を始め多様な意見が反映されるような働きかけ

○「みんなで減災」県民総ぐるみ運動推進会議において、各構成機関の取り組むべき内容を共有

課題

○専門分野（業界）における各種団体の構成員に女性がいなかったり役職（宛て職）に女性がいなかったりなどを理由に、女性の登用が進まない状況がある。今後とも各種団体に対して、多様な意見の反映について十分周知していく必要がある。

4 考慮すべき社会情勢の変化

(1) 社会構造の動向・変化等

人口減少が続く中、労働力人口の不足や地域活動の担い手不足が深刻な課題となっており、地域の産業やコミュニティの持続可能性確保のため、性別にかかわらず誰もが、個性や能力を発揮できる環境整備が必要である。

女性活躍推進法の改正等、職場の女性活躍の裾野を拡大していくための法制度の整備が進む中、企業経営においては、人的資本経営等への関心が高まっており、これらの経営手法を取り入れる事業者への支援が必要となっている。

また、女性の就業率は上昇し、「M字カーブ」が解消されつつある一方で、出産を契機に女性が非正規雇用化していることや、健康課題に起因する望まない離職等を防ぐことが課題となっており、性別にかかわらず、育児や介護等のライフイベントに応じた多様な働き方や成長機会が得られる職場環境の整備等が必要とされている。

(2) 意識・価値観の動向・変化

近年、若い世代でジェンダーに対する意識が高まっているものの、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」といった性別による固定的役割分担意識やアンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）が依然として根強く残っていることが、男女共同参画社会の実現における大きな障壁となっており、職場や地域社会、教育現場等において、ジェンダー平等に関する理解を深める取組が必要である。

(3) 安全・安心に影響を与える様々な要因

性犯罪や性暴力、配偶者間の暴力（DV）、ストーカー行為、セクシャルハラスメント（セクハラ）などが依然として後を絶たず、近年、SNSやコミュニケーションツールの普及に伴い、その被害は一層多様化している。これらの被害を防ぐための啓発活動を進めるとともに、被害者が安心して相談できる支援体制の強化が求められている。

5 次期計画の骨子案

(1) 目指す姿 (条例前文を引き続き踏襲)

性別にかかわらず誰もが、互いに人権を尊重しながら、その個性と能力を十分に発揮し、社会のあらゆる分野において共に参画し、責任も分かち合うことのできる男女共同参画社会の実現

【「目指す姿」の説明】

- | | |
|--------------------------------|---|
| 性別にかかわらず誰もが・・・・・・・・・・・・・・・・ | ① |
| 互いに人権を尊重しながら・・・・・・・・・・・・・・・・ | ② |
| その個性と能力を十分に発揮し・・・・・・・・・・・・・・・・ | ③ |
| 社会のあらゆる分野において・・・・・・・・・・・・・・・・ | ④ |
| 共に参画し・・・・・・・・・・・・・・・・ | ⑤ |
| 責任も分かち合うことのできる男女共同参画社会の実現・・ | ⑥ |

- ①…女性、男性、あるいは性的指向・ジェンダーアイデンティティにかかわらず誰もが、
- ②…個人としての尊厳が重んじられ、性別による差別的な取扱いを受けないこと。
- ③…性差に関する固定観念・偏見等による制約や影響を受けることなく、自分らしく個人として個性や能力を発揮することができている。
- ④…政治的、経済的、社会的及び文化的な分野など様々な幅広い分野において、
- ⑤…対等な立場で方針等の検討や決定の過程にかかわり、意見を言うことができるとともに、実施段階においても対等に参加している。
- ⑥…分担した役割に応じて責任を負うとともに、成果に応じ合理的な評価を受けている。

(2) 計画期間

令和8年度～令和12年度

(3) 次期計画における基本的な考え方

- 第6次計画は、第5次計画の振り返りや考慮すべき社会情勢の変化、国の第6次男女共同参画基本計画、改正女性活躍推進法等を踏まえ、目指す姿の実現に向け、第5次計画の施策領域を踏襲しつつ、今日的な課題への対応を進める。
- 女性の就業率の上昇や、待機児童の解消、男性の育児休業取得率の向上といった進捗はあるものの、依然として、男女間の管理職等指導的立場に占める割合の差や賃金格差が存在しているほか、家庭での家事・育児は女性に偏っていることなどから、性別にかかわらず誰もがライフイベントと両立しながら働くことができるよう、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方を促進し、企業内での就業継続・登用促進や、出産や育児等により離職した女性の再就職の支援、男性の育児休業の取得促進などに取り組む必要がある。このほか、地域活動における多様な意見の反映のため、地域に出向いた意識啓発を行う必要がある。
- 性別による固定的役割分担意識やアンコンシャス・バイアスが根強く存在しており、家事・育児時間の男女差につながるなど、自分らしい生き方の実現の障壁となっており、こうした意

識は、周囲からの影響を受けていると感じる県民も少なくないことから、職場や地域、家庭といった個人を取り巻く周囲の方も巻き込んだ情報発信を強化する必要がある。

- 若年層におけるデートＤＶの精神的暴力の認識の広がりや、ひとり親家庭における養育費の取り決め状況の改善といった進捗はあるものの、各相談窓口の認知度が低い等の課題があり、引き続き、被害防止の取組と被害者支援等の環境づくりが必要である。

また、性の多様性については、依然として、性的マイノリティの当事者が社会的に疎外されたり差別を受けるといった事例が後を絶たないため、引き続き、相談窓口の運営等の支援や意識啓発が必要である。この点においても「男は／女はこうであるべき」といった固定観念の延長線上に偏見や思い込みによる無理解が存在しており、県民に幅広く訴求していく必要がある。

- 各施策を、効果的なものとするためには、県内市町や関係団体等と、引き続き連携しながら進めていく必要がある。

(4) モニタリング指標

目標値は設定しないものの「目指す姿」に向けて、各施策領域に設定する成果指標と合わせて、次の指標の動向を注視します。

指標名	現状値（Ｒ７）
性別にかかわらず、働き方や暮らし方を自分らしく選択できている人の割合	58.0%
男女間賃金格差の割合（男性の給与額を100としたときの女性の給与額の割合）	75.2%

(5) 施策体系

○新旧対照表

(施策体系内の柱の見直しについて)

ア 国の男女共同参画基本計画に準じて柱の分け方を整理するもの

- ① 領域Ⅲの柱を「暴力の予防・被害者支援」と「貧困等の困難支援」に分割する。

イ その他、取組の内容に応じて柱を整理するもの

- ② 性別に関する固定観念の解消に係る取組については、次期計画の領域Ⅱの「1 男女双方の意識改革」に集約する。(第5次計画の領域Ⅰから移動)

- ③ 地域社会における男女共同参画については、次期計画の領域Ⅰ「地域社会における男女共同参画の推進」として柱をたてる。(第5次計画の領域Ⅳから移動)

第5次計画	第6次計画骨子案
領域Ⅰ 仕事と暮らしの充実 1 誰もが安心して自らが望む働き方にチャレンジできる環境づくり 2 女性が意欲を持ってその力を発揮することができる環境づくり 3 個人生活の充実による多様な暮らし方の実現	領域Ⅰ 仕事と暮らしの充実 1 誰もが安心して自らが望む働き方や暮らし方にチャレンジできる環境づくり 2 女性が職場において意欲を持ってその力を発揮することができる環境づくり 3 <u>地域社会における男女共同参画の推進</u>
領域Ⅱ 男女双方の意識改革 1 性差に係る固定的な意識の解消 2 主体的に仕事やライフスタイルを選択する意識の醸成	領域Ⅱ 男女双方の意識改革 1 性差に係る固定的な意識の解消 2 主体的に仕事やライフスタイルを選択する意識の醸成
領域Ⅲ 安心して暮らせる環境づくり 1 暴力や貧困など、様々な困難を抱える人への支援 2 性の多様性についての県民理解の促進と性的指向・性自認に関わらず安心して暮らせる環境づくり	領域Ⅲ 安心して暮らせる環境づくり 1 <u>ジェンダーに基づくあらゆる暴力を容認しない環境整備と被害者支援の充実</u> 2 <u>貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備</u> 3 性の多様性についての県民理解の促進と性的指向・ジェンダーアイデンティティに関わらず安心して暮らせる環境づくり
領域Ⅳ 推進体制の整備等 1 市町や様々な団体等との連携強化 2 地域社会における政策方針の立案及び決定過程における多様な意見の反映	領域Ⅳ 推進体制の整備等 1 市町や様々な団体等との連携強化による推進体制の整備 2 <u>政策方針の立案及び決定過程における多様な意見の反映</u>

○施策体系ごとの取組の方向

新規：第5次計画の振り返り等を踏まえ、新たに計画に位置づけることとした取組み

重点：第5次計画の振り返り等を踏まえ、特に注力する必要があることとした取組み

領域Ⅰ 仕事と暮らしの充実

1 誰もが安心して自らが望む働き方や暮らし方にチャレンジできる環境づくり

目指す姿 (5年後)	暮らしと両立できる職場環境整備に取り組む企業が増えるとともに、保育サービス等を安心して受けることができる環境づくりが進み、夫婦やパートナー同士が共に育児や介護等に参加し、誰もが、ライフイベントと両立して働くことができるなど、自らが望む働き方・暮らし方ができる環境が整っています。
主な課題	○ 男性の育児休業取得率は総じて上昇傾向で全国値を上回って推移しているものの、更なる取得推進と取得期間の長期化などが必要である。 ○ 不妊検査・一般不妊治療費用助成申請件数は増えているが、認知度向上のため、さらなる制度周知を行う必要がある。 ○ 特定の地域への保育ニーズの集中や配置基準の見直し等により継続的な保育士の確保が必要である。
今後の取組の方向性	・男性の育児休業取得促進 ・共家事・子育ての推進【新規】 ・不妊治療への理解促進 ・保育サービスの安定的な提供や保育の質の向上 など

2 女性が職場において意欲を持ってその力を発揮することができる環境づくり

目指す姿 (5年後)	職場において、女性が責任ある業務や役割にチャレンジできる環境づくりが進み、また、妊娠や出産、更年期等のライフステージに応じた健康課題への対応も進むことで、就業継続や希望するキャリア形成が実現できる環境が整っています。
主な課題	○ 企業における女性活躍の取組着手の効果は認められるが、その多くが就業継続(仕事と家庭の両立支援)の取組に留まり、指導的立場に占める女性の割合は2割弱で推移するなど伸び悩んでいる。 ○ 出産を契機に女性が非正規雇用化するいわゆる「L字カーブ」が続いていることや、健康課題に起因する望まない離職等が生じており、性別にかかわらず、育児や介護等のライフイベントに応じた多様な働き方や成長機会が得られる職場環境の整備等が必要である。
今後の取組の方向性	・女性活躍促進に向けた企業・業界団体への支援【重点】 ・企業における女性登用促進に向けた女性従業員への支援【重点】 ・女性の再就職・キャリア形成支援【重点】 ・「性と健康の相談センター」の運営【新規】 ・骨粗鬆症・骨折予防の推進、健康経営の取組支援【新規】 など

3 地域社会における男女共同参画の推進

目指す姿 (5年後)	地域活動等においても、多様な意見を取り入れる取組が広がり、誰もが挑戦・活躍できる環境づくりが進んでいます。
主な課題	○ 多くの市町で、地域活動に参加する女性が少ないことを課題と捉えている。また、男女共同参画施策推進に係る人員やノウハウ不足、予算確保を課題と感じており、推進体制の強化が必要である。
今後の取組 の方向性	・ <u>地域での女性の意見反映が進むための意識啓発【一部新規】【重点】</u> ・防災・減災・復興における多様な意見の反映

領域Ⅱ 男女双方の意識改革

1 性差に係る固定的な意識の解消

目指す姿 (5年後)	固定的な性別役割分担意識の解消や性別によるアンコンシャス・バイアスへの気づきにつながる取組が広がり、性別にかかわらず自分らしい選択ができる気運が醸成されつつあります。
主な課題	○ 県民意識調査では、親や配偶者・パートナー、職場の人など周囲の方から性別役割の影響を受けたと回答している割合が7割と高く、ジェンダーバイアス解消のためのセミナーや啓発の取組の効果をより幅広い層に広げていく必要がある。
今後の取組 の方向性	・エソール広島によるわたらしい生き方を選択するための講座【重点】 ・性別によるアンコンシャス・バイアス解消に向けた意識啓発【重点】 ・男女共同参画の視点に配慮した広報についての周知

2 主体的に仕事やライフスタイルを選択する意識の醸成

目指す姿 (5年後)	地域の産業や文化、自然、暮らしと安全を支える仕事に触れるなど、体験的・実践的な教育活動が充実し、性別にかかわらず自己の在り方や生き方を考え、主体的に進路や職業、ライフスタイルを選択する意識が醸成されてきています。
主な課題	○ 生徒がより主体的に進路を選択する意欲・態度を育むことができるよう、実社会や企業等が抱える課題の解決に取り組むなど、体験的・実践的な教育活動の更なる充実が必要である。
今後の取組 の方向性	・職場体験活動やインターンシップの充実 ・県内高校等への男女共同参画に関する出前講座の実施

領域Ⅲ 安心して暮らせる環境の整備

1 ジェンダーに基づくあらゆる暴力を容認しない環境整備と被害者支援の充実

目指す姿 (5年後)	性被害やDV、様々なハラスメントに対して、被害者や悩みを抱える方が安心して相談でき、支援を受けることができる体制が整備され、被害を抱え込むことなく、被害の回復・軽減が図られる環境が整いつつあります。また、若年層への性被害の予防に関する啓発等の取組により、被害防止に向けた環境づくりが進んでいます。
主な課題	○ 性犯罪・性暴力被害者について、子供・若者がボリュームゾーンであるが、これらの層が性被害ワンストップセンターひろしまにつながるための効果的な情報発信ができていない。 ○ 授業時間を割いてデートDV予防講座を実施することが難しい学校がある。また、市町における配偶者暴力相談支援センターの設置は進んでいない状況である
今後の取組 の方向性	・DV予防教育・啓発の充実等 ・市町や地域との連携による発見から相談、保護、自立までの適切なDV被害者支援 ・「性被害ワンストップセンターひろしま」による相談支援と認知度向上 ・性犯罪被害者の相談体制整備など

2 貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備

目指す姿 (5年後)	ひとり親家庭等の理由により貧困や孤立・孤独など様々な困難を抱える方に対して、相談や必要な支援を受けることができる体制が整えられており、安心して生活できる環境づくりが進んでいます。
主な課題	○ 広島県ひとり親家庭サポートセンターで受ける相談件数の増加に伴い、養育費の取り決めに結びついた件数は増加傾向にあるが、養育費を実際に受け取っている者の割合は横ばいとなっている。
今後の取組 の方向性	・ひとり親家庭や様々な困難な状況にある女性等への相談対応 ・ひとり親家庭の養育費の支払いに向けた助言と支援 など

3 性の多様性についての県民理解の促進と性的指向・ジェンダーアイデンティティにかかわらず安心して暮らせる環境づくり

目指す姿 (5年後)	性的マイノリティの方々が抱える悩みを安心して相談できる環境づくりが進むとともに、県民への正しい情報の提供等により、性的指向やジェンダーアイデンティティに関する理解が深まり、誰もが個性や能力を発揮でき、安心して暮らせる環境づくりが進んでいます。
主な課題	○ 人権啓発指導者養成研修会では、企業の人事担当者や行政職員の参加があるが、医療・福祉関係など様々な分野からより多く参加してもらう必要がある。 ○ L G B T相談の窓口として、エソール広島が十分認知されておらず、当事者の抱える悩みの解消を進める必要がある。
今後の取組 の方向性	・企業や団体等への研修や啓発事業による県民理解の促進【重点】 ・エソール広島L G B T相談支援と認知度向上【重点】 など

領域Ⅳ 推進体制の整備

1 市町等との連携強化による推進体制の整備

目指す姿 (5年後)	市町間の情報共有や先進事例等の共有が図られるとともに、国や企業、団体等が連携しながら、より効果的な取組が行われています。また、個人を含む多様な主体が協働し、ジェンダー平等の実現に向けた活動が活発に行われています。
主な課題	○ エソール広島の認知度は23.2%でジェンダー平等に向けた活動が十分知られていないため、市町や企業等との協働・連携をこれまで以上に進めていく必要がある。
今後の取組 の方向性	・市町等との意見交換や連携強化 ・多様な団体の活動の活発化に向けた交流連携支援

2 政策・方針の立案及び決定過程における多様な意見の反映

目指す姿 (5年後)	県・市町の審議会等への女性登用が進み、政策・方針の立案及び決定過程等において、多様な意見が反映される環境が整っています。
主な課題	○ 審議会等構成員について専門分野（業界）における各種団体の構成員に女性が少ないことや役職（宛て職）に女性がいないことなどを理由に、女性の登用が進まない状況がある。
今後の取組 の方向性	・県審議会女性委員の登用率向上 ・市町審議会への女性の意見反映に向けた働きかけ

○取組の方向性（まとめ）

施策項目	取組の方向性
領域Ⅰ 仕事と暮らしの充実	
1 誰もが安心して自らが望む働き方や暮らし方にチャレンジできる環境づくり	・男性の育児休業取得促進 ・共家事・子育ての推進【新規】 ・柔軟な働き方の推進 ・不妊治療への理解促進 ・保育サービスの安定的な提供や保育の質の向上 ・放課後児童支援員認定資格研修の実施 ・放課後等デイサービスや児童発達支援の事業所確保 ・ケアラー（家族介護者等）への相談体制の充実 ・「性と健康の相談センター」の運営【新規】 ・骨粗鬆症・骨折予防の推進【新規】
2 女性が職場において意欲を持ってその力を発揮することができる環境づくり	・女性活躍促進に向けた企業・業界団体への支援【重点】 ・企業における女性登用促進に向けた女性従業員への支援【重点】 ・女性の再就職・キャリア形成支援【重点】 ・創業意欲を持つ女性への支援 ・健康経営の取組支援【新規】 ・「性と健康の相談センター」の運営【新規】（再掲） ・骨粗鬆症・骨折予防の推進【新規】（再掲）
3 地域社会における男女共同参画の推進	・地域での女性の意見反映が進むための意識啓発【一部新規】【重点】 ・防災・減災・復興における多様な意見の反映
領域Ⅱ 男女双方の意識改革	
1 性差に係る固定的な意識の解消	・エソール広島によるわたらしい生き方を選択するための講座【重点】 ・性別によるアンコンシャス・バイアス解消に向けた意識啓発【重点】 ・男女共同参画の視点に配慮した広報についての周知
2 主体的に仕事やライフスタイルを選択する意識の醸成	・職場体験活動やインターンシップの充実 ・県内高校等への男女共同参画に関する出前講座の実施
領域Ⅲ 安心して暮らせる環境づくり	
1 ジェンダーに基づくあらゆる暴力を容認しない環境整備と被害者支援の充実	・DV予防教育・啓発の充実等 ・市町や地域との連携による発見から相談、保護、自立までの適切なDV被害者支援 ・ハラスメント防止のための啓発 ・ストーカー総合対策の推進 ・「性被害ワンストップセンターひろしま」による相談支援と認知度向上 ・性犯罪被害者の相談体制整備 ・児童への情報モラル教育等の取組推進 ・児童生徒の発達段階に応じた性に関する学校教育の実施
2 貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備	・ひとり親家庭や様々な困難な状況にある女性等への相談対応 ・ひとり親家庭の養育費の支払いに向けた助言と支援 ・生活困窮者自立支援制度等 ・多言語での情報提供や相談事業等
3 性の多様性についての県民理解の促進と性的指向・ジェンダーアイデンティティにかかわらず安心して暮らせる環境づくり	・企業や団体等への研修や啓発事業による県民理解の促進【重点】 ・性に関する正しい知識等の学校教育活動全体を通じた教育の実施【重点】 ・エソール広島LGBT相談支援と認知度向上【重点】
領域Ⅳ 推進体制の整備等	
1 市町等との連携強化による推進体制の整備	・市町等との意見交換や連携強化 ・多様な団体の活動の活発化に向けた交流連携支援
2 政策・方針の立案及び決定過程における多様な意見の反映	・県審議会女性委員の登用率向上 ・市町審議会への女性の意見反映に向けた働きかけ